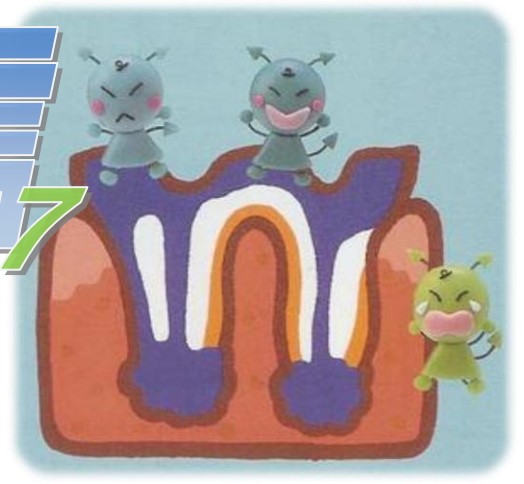


# みやた歯科通信

Vol.7



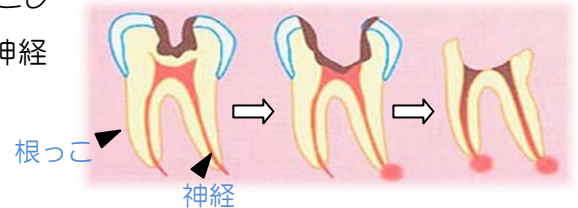
特集：患者さんの素朴なギモンにお答えします①

## 「神経(根っこ)の治療って・・・なに？」

歯医者さんに通うと「神経を取りましょう」と良く言われます。でも良く考えたら・・・「神経を取る！」だなんて、驚きませんか！？

脳神経とか目の神経などを「取った」話など聞いたことがないはずですが、歯まで来ている神経も脳の神経や目の神経と基本的には同じです。痛みを感じたり、わずかな「圧」を感知したり、立派に「神経」としての働きをしています。

ところが・・・歯の中に来ている神経には、他にはない大きな問題があるのです。歯の中の深くまで神経が入り込んでいるために、簡単に虫歯に侵されてしまうことです。虫歯がどんどん進行していくと、神経までわりとすぐにたどりついてしまい、歯の痛みや神経の病気を引き起こします。虫歯に侵されて激しい痛みが起こった時は、麻酔をして神経を取ってしまうしか方法がないのです。



## 神経を取ったらどうなるの？

A：神経は歯に栄養を与える体液や血液と一緒に歯の中に入り込んでいますので、神経を取ってしまうと歯に栄養がいかなくなってしまう。そうすると松が枯れるように中がスカスカの状態になってしまいます。さらに、虫歯に対する抵抗力も減退して歯には決してよくありません。ですから、宮田歯科医院では決して安易に神経は取らずにできるだけ保存するように努めています。



## 放っておくとどうなってしまうの？

A：虫歯が神経まで侵すようになると激しい痛みが出ますが、暫くすると痛みがなくなってしまいます。「ああよかった、治ったんだ」と油断をしたら・・・それは大間違い！それは治ったのではなく、神経が死んでしまって感じなくなったということなのです！死んで腐ったものを歯の中に残していたら・・・しだいに虫歯の細菌に加え、さらに悪質な細菌が神経の入っている管から体内に侵入し、歯の根の部分まで感染してしまいます。これは大変重い感染症で、ひどい時は全身を侵し、医療施設が整っていない地域では死に至ることさえあるのです！ですので、虫歯で痛みがでたら必ず歯医者さんに相談してください。



2010.8.26